



## エープリル・フールは、どうしてうそをついていいの

### あいて たの 相手をおついで楽しむていどのいたずら

ヨーロッパでは4月1日に軽いいたずらをしたり、うそをついて人をかついだり、むだ足をふませたりする習慣があります。このはじまりは、1564年にフランスの国王シャルル9世が暦を改正して、それまで4月1日だった新年を、1月1日に改めたことによるといわれています。

新年が1月に変わったことを喜ばない人たちが、4月1日に、ふざけたおくり物をしたり、新年のえん会のまねをして楽しんだというのです。この習慣がいたずらや人をだますことにまで発展して、ヨーロッパ各国にまで広まったようです。うそをつくことは悪いことですが、たあいないうそをついて相手をおつぎ、とまどう様子を見て楽しむといういたずらていどのことは、許されているようです。

### がつ せつ 4月によくとれる、サバにちなんだという説も

このほかに、フランスではエープリル・フールをポアソン・ダブリルとよんでいます。これは4月の魚(サバ)という意味で、4月にはたくさんとれるので、4月1日にだまされる人を4月の魚というという説もあります。またサバには誘かい者という意味があり、4月にはだまされる人が多いことから、エープリル・フールということばが生まれたともいわれています。(監修・保岡 孝之)

